



芭蕉誌

琉球大学同窓会関東支部会報誌

第18号

2018年9月発行



昨年(2017年10月)の関東支部総会・懇親会

本年度の総会・懇親会のお知らせ

日時:2018年10月20日(土) 13:00~16:00

場所: 千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館(9F) 喜山倶楽部

会費6,000円

お気軽にご参加ください。
懐かしい、そして楽しい出合いがあります。

※ご不明の点は事務局へメールまたはお電話でご照会ください

編集発行 琉球大学同窓会関東支部・事務局

目 次

- P 1 表紙 2018 年度総会・懇親会のお知らせ
- P 2 目次
- P 3 高山支部長（初等教育学科 1962 年入学）挨拶
- P 4 大城学長（経済学科 1970 年入学）ご挨拶
- P 5 幸喜本部同窓会会長（保健体育学科 1962 年入学）ご挨拶
- P 6 2017 年度 同窓会関東支部 総会・懇親会の報告 ①
- P 7 2017 年度 同窓会関東支部 総会・懇親会の報告 ②
- P 8 2018 年度 同窓会関東支部 総会・懇親会の式次第
- P 9 恩師より 山本 哲彦先生（琉球大学名誉教授）
- P10 同窓生便り 山田 みさよ氏（法文学部経済学科 1988 年入学）
- P11 同窓生便り 稲葉 賢治氏（農学部農学科 1979 年入学）
- P12 同窓生便り 日賀野 晴彦氏（理工学部生物学科 1977 年入学）
- P13 同窓生便り 知名 定則氏（理工学部化学科卒業 1971 卒業）
- P15 決算報告、予算案、役員名簿等
- P16 同窓会費納入のお願い、ご寄付のお願い

press release

南都酒造所

ハブのチカラを明日のチカラに!
「琉球ハブボール」新発売

水だけで100日以上生きるといわれているハブの不思議な生命力。
その神秘的な生命力を持つハブのエキスを香り高い13種類のハブ
のエキスをダブルブレンドした沖縄生まれの新感覚ハイボール
「琉球ハブボール」。

琉球ハブボールについてのお問い合わせ

株式会社南都 南都酒造所 東京媒介営業所 代表者 大庭正広
TEL 03-6661-0831 FAX 03-6661-3373

株式会社南都 南都酒造所 営業課 担当者 長部 毅
TEL 0120-710-611 FAX 098-949-1333

the-osake@gyokusendo.co.jp

http://www.nantousyuzo.com/habuball/

遠く離れ暮らしても忘れぬ
生まれ島、沖縄♪

いよいよ東京にオキナワスタッフ 事業部がオープンになりました♪

沖縄出身者の転職応援、派遣の紹介をします。
代表は人材業界30年で沖縄の東風平出身の新垣進でござ
います。皆さんの周りの子供、親戚、友人に勧めたい仕事が一
杯。営業職・販売・事務職など高収入の仕事も一杯



株式会社
オールビジネスリンク
代表取締役 新垣 進
関東沖縄経営者協会 会長
東京沖縄県人会 副会長

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-24-3 内神田STビル5F
TEL: 03-3251-6315 FAX: 03-3251-0305 携帯 090-8476-4426
E-mail: shingaki@all-biz-link.co.jp
●琉大出身ではありませんが渡久山長輝さん、高山厚子さん、
宮城重哲さんと親交あり。

10月第三土曜日は、琉球大学同窓会関東支部の日 ～嬉しいお知らせと出逢いは宝へ～

支部長挨拶



琉球大学同窓会関東支部長 高山厚子

1966年 琉球大学勝教育学部初等教育学科卒業後、英文科聴講生
1968年 上京し、富士貿易(株)通訳兼社長秘書
1970～2003年 小学校教諭・教頭・校長で退職(最終校板橋区立金沢小学校)
2003～2010年 板橋区教育委員会・三鷹市教育委員会
2003～2012年 文教大学講師(論策ゼミ)
現在 沖縄料理研究家・沖縄県修学旅行アドバイザー(NHKワールド、あさいち・夕時ネット等テレビ出演多数。著作「緑のカーテンの恵みを食べよう」他

本支部の顧問(前支部長)徳山長輝氏が、長年の御功績を讃えられ、総会当日、「琉球大学名誉博士号」を大城肇学長より授与される運びとなりました。謹んでお知らせすると共に、栄えある日をご参会のご来賓や会員の皆様と共に祝いしたいと存じます。誠におめでとうございます(P8ご参照)。

また、毎年琉球舞踊やサンシンで懇親会を盛り上げていただいております仲本光正氏率いるクイチャーパラダイスが、来年6月、世界や日本各地の民族舞踊団と共に、「第1回宮古島国際文化交流フェスティバル2019」という壮大な祭りを、宮古島を舞台に10日間にわたって開催します(P15ご参照)。同窓生始め、多くの方々のご賛同・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今回、この芭蕉誌にご寄稿頂きました方々を順次紹介いたします。山田みさよ氏(P10)は、女性で初めての沖縄県東京事務所の国際会議班の副参事として東京へ着任し、その活躍が注目されています。また、知名定則氏(P13)は、昨年の同窓会で何と高校・大学時代の友人と何十年ぶりで出逢った感動を綴っております。

私事で恐縮ですが、昨年も、沖縄修学旅行の事前・事後学習で全国61校を巡りました。その折、持参するのが、琉球大学のパンフレットと関東支部の芭蕉誌です。首里城の歴史を語るとき、我が琉球大学を語ります。そんな中で多くの出会いもありました。山本哲司先生(P9、元工学部教授・弓道部顧問)は岡山で、稲葉賢治氏(P11)は京都で、日賀野晴彦氏(P12)は茨城でお会い致しました。まさに「出逢いは宝」のつながりでございます。改めてご執筆頂きました皆様に感謝申し上げます。

さて、本支部の運営が円滑に継続できますのは、弁護士・中島信一郎副支部長の法律事務所の方々の支えが大きな要因となっております。支部の運営にはこの他にも多くの方々にご尽力をいただいています。支部運営の財源は、沖縄の企業や同窓生の皆様の名刺広告や寄付金でございます。更に、本部同窓会より活動資金の一部をご支援賜りましたことをご報告申し上げます。皆様には心よりお礼を申し上げます。皆様のお心に沿うべく、『琉球大学同窓会関東支部ここにあり』を会員の皆様と共に力強く進めて参ります。

最後になりましたが、今年も、幸喜徳子本部同窓会長、大城肇琉球大学長や多くの御来賓のご参加の下開催できますことを心より感謝申し上げます。会員の皆様もどうぞ、ご家族や友人、学生時代のクラブ等で一緒した方々をお誘いし、ご参加くださいませ。出会いは、出逢いを生みます。心よりお待ちしております。



ひがの 日賀野氏(右)と(P12もご参照下さい)



第16代琉球大学学長 大城 肇

1951年6月23日鳩間島生まれ
1974年 琉球大学法文学部経済学科卒業
1977年 広島大学大学院経済学研究科修了(経済学修士)
2004年 琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター長
2005年 琉球大学学長補佐
2008年 琉球大学副学長
2009年 琉球大学理事・副学長
2013年 琉球大学学長

この8月上旬、ブラジル、アルゼンチン、ボリビアの3か国を訪問する機会がありました。用務は、第22回WUB（Worldwide Uchinanchu Business Network 世界ウチナンチュビジネスネットワーク）世界大会への参加と各県人会の移民関連記念行事への参加、県人会と琉大の連携協定の協議、そして地元の大学との包括連携協定の協議及び締結でした。

ご承知のとおり、ブラジルとアルゼンチンへのウチナンチュ（沖縄県系人）の移民は、1908年の笠戸丸での移民が始まりです。ボリビアへのウチナンチュは、ペルーへの移民(1906年)の中から7名が、1908年にアンデス山脈を越えて天然ゴム園で働いたのが最初であると言われています。いずれにしても、ブラジル、アルゼンチン、ボリビアでは、沖縄県人移民110周年記念式典と沖縄県人開拓先亡者慰霊法要が併せて執り行われました。

海外移民について、その要因や影響等に関する調査研究は数多くあります。その中から要点をかいつまんで列記しますと、①琉球王国時代の海外交易の経験によって海外雄飛の精神が培われた、②太平洋戦争前後の沖縄経済社会は困窮・疲弊しており、戦前は移民の送金によって、戦後は物資の援助等により大きく貢献した、③県内各市町村レベルでの出身者との交流が盛んで国際交流が重層的に行われている、などを挙げることができます。

紙幅の関係で3か国の報告はできませんので、初訪問となったボリビアに絞って、訪問の印象を記すことにします。ボリビアの正式国名はボリビア多民族国で、1825年8月6日にスペインから独立しました。人口約1,100万人のボリビアの中に、人口1,000人弱

の「コロニア・オキナワ」が行政区(村)として存在します。現地の方に従うと、地球儀の上でオキナワが2つあるということになります。沖縄県系人のパワーが実感できる地域です。

戦後、ボリビアの沖縄県系人が、被災した郷土・沖縄の人々を受け入れるべく国内に移住地を計画し、米国民政府とボリビア政府に働きかけました。リオ・グランデ川東岸にうるま移住地を創設し、1954年から政策移民を受け入れたのが、コロニア・オキナワの始まりです。以来、1988年まで合計3,385人が入植し、筆舌に尽くせぬ苦難を経て、オキナワ第一からオキナワ第三までの移住地を形成して今日に至っております。

コロニア・オキナワは、小麦、ソルゴ、トウモロコシ、米、サトウキビなどの営農作物のほか、肉牛・乳牛の飼育、養豚、養鶏を営み、協同で製粉所やパスタ工場を経営するなど、Agro-industryの拠点となっています。この広大な農地が、70～80年前前はジャングルであったとは想像できないほど、素晴らしい耕作地に生まれ変わっていました。

このようなコロニア・オキナワ社会で課題がないわけではありません。移住者一世の高齢化への対応や日系子弟に対する日本語教育の問題などがあることを伺いました。ここに、琉球大学が海外のウチナンチュ社会に対して貢献できる分野があります。現に、琉大の卒業生が活躍していました。

沖縄と時差が12時間もあり、季節も正反対の南米への出張でしたが、県人会の方々だけでなく現地の大学関係者とも連携協定の協議を行うことができたのは、大きな収穫でした。

同窓会による支給型奨学金制度の発足

同窓会会長ご挨拶



琉球大学同窓会9代目会長 幸喜徳子

出身地 沖縄県那覇市

経歴

1966年 琉球大学教育学部卒業

県立豊見城高等学校教諭拝命(～66)

1967年 日本航空(株)国際線 乗務(～70)

1977年 沖縄石油ガス(株)(～現在)

1994年 沖縄キリスト教短期大学

非常勤講師・特任教授(～2014)

2004年 沖縄県公安委員・委員長(～12)

資格・褒章等

1989年 アメリカ連邦航空局

自家用パイロット免許取得

1999年 アメリカ連邦航空局

パイロット座学教官免許取得

2014年 旭日小綬章 受賞 皇居参内

2018年 琉球大学 名誉博士 授与

はいたい、ぐすーよー、ちゅううがなびら！(今日は、皆様お元気ですか。)

琉球大学同窓会関東支部の皆様には平素より同窓会活動にご協力を賜り誠に有り難うございます。

貴支部では昨年は沖縄県東京事務所長の比嘉徳和氏を迎え、「沖縄県東京事務所のあれこれ」と題して講演が行われ、その果たす役割を再認識する良い機会となりました。講師選定、テーマも毎年興味深く、高山支部長はじめ役員の皆様の人脈の広さ、造詣の深さが支部活動の要になっていると存じます。

さて、本年、同窓会本部では7月末に支部長会、講演会、大学より同窓生に対する名誉博士の学位記授与式、懇親会等を盛会裏の内に実施することができました。特筆すべきは今年から同窓会による支給型奨学金制度の発足です。生活に困窮する学生を支援したいとの会長就任以来の目標が叶い、嬉しい限りです。

これは今年、貴支部副支部長の宮城悟氏が同窓会に対し10年継続し百万円を寄付するとの覚書を交わし、早速実施下さったことも大きな力となり、深く感謝申し上げます。今後とも皆様に同窓会へのご寄附をご協力頂き、奨学金制度を充実させたいと思っています。何卒よろしくお願い申し上げます。

報告事項としては岸本正之氏の顕彰碑記念日を4月第2月曜日に制定したことがございます。岸本ご夫妻をお迎えし、式典を行い名誉顧問の称号をお贈り致しました。講演会は稲嶺恵一元沖縄県知事、小禄邦男琉球放送取締役最高顧問に講師をお務め頂き、大好評の内に終わりました。小禄氏より会長の幸喜と対談を、とのご要望に応え一部、対談となりました。

続いて琉球大学より名誉博士の学位記授与式もその場で行われました。渡久山長輝氏、大津幸男氏、幸喜徳子が授与の栄に浴することができました。琉球大学にただただ感謝するばかりでございます。尚、渡久山氏へは関東支部総会での授与となりました。懇親会では大城肇学長、稲嶺恵一氏等のご挨拶、小禄氏のご臨席を賜り、華を添えて頂きました。

今年は役員改選があり私は5期目の会長続投、副会長は3名が交替しました。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

結びに関東支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念しご挨拶と致します。

琉球大学同窓会本部 新役員体制

同窓会長 幸喜徳子

同副会長 増田昌人

同 石川清勇

同 長浜まさ子 新

同 新城 勇 新

同 石川正一 新



同窓会への寄付行為を表彰される宮城悟本支部副支部長
(2018年7月28日：那覇)

琉球大学同窓会関東支部 2017年度総会・懇親会のご報告

関東支部では、2017年10月21日(土)に、御来賓として大城肇学長、本部同窓会の幸喜徳子会長、東京沖縄県人会の仲松健雄会長にご臨席いただき、会員約70名の参加を得て2017年度の支部総会及び懇親会を開催いたしました。2年に一度の機械工学科同窓会関東支部の皆さんの合流があり、例年以上の盛会でした。

定例となりました講演会は、沖縄県東京事務所の比嘉徳和所長に「東京事務所あれこれ」と題してご講演をいた

だきました。東京事務所の歴史を中心に話していただきましたが、それはすなわち復帰後の沖縄の歴史であり、参加者からは「とても勉強になりました」との声が多く聞かれました。

懇親会は一次会、二次会とも大いに盛り上がりました。学長や同窓会長を含め、世代の垣根を越えた同窓会らしい懇親の場になりました。今後も参加者の増員へ向けて同窓会のあり方を工夫して参りたいと思います。

総 会



支部長挨拶



学長ご挨拶



同窓会会長ご挨拶

講演会



沖縄県東京事務所の比嘉所長
による講演



株式会社メディア・ワン 代表取締役社長



一般社団法人
関東沖縄経営者協会
Kanto Okinawa Management Association

名誉会長



東京沖縄県人会 会長

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-2 神田南口鋭光ビル4F

TEL: 03-5297-4601 FAX: 03-5297-4611 URL <http://media-1.co.jp> E-mail: t-nakamatsu@media-1.co.jp



仲松 健雄



品質薬事部長

知 名 定 則

テカンジャパン株式会社

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580-16
川崎デックセンター



代表 小 泉 ケイ子
KO I ZU MI KE I KO

一般土木工事・軌道工事
認定：(一般)第54246号

株式 会 社 会 縄 軌 道
AI NA KI DO

本 社 〒243-0422 神奈川県海老名市新田3-36-24
TEL.046-233-7998 FAX.046-233-7588
E-mail: keiko@ainakido.com
携 帯: 090-3546-5215

懇親会

例年のようにクイチャーパラダイスに盛り上げていただきました



東京沖縄県人会

名誉会長 **渡久山 長輝**

(1960年物理学科卒)

囲碁石庭
沖縄県石垣市大川 340 番地
TEL 090-4399-7835

関東沖縄経営者協会名誉会長
美ら島沖縄大使

(株)日本アドバンス 代表

重田 辰弥

(1959 年 法政学科入学)

〒101-0046 千代田区神田多町 2-9-6 田中ビル別館 6 階
BLOG : <http://blog.goo.ne.jp/shigeta-nas>

創業明治38年
琉球泡盛 **松藤**

専務取締役 **崎山 淳子**
Junko Sakiyama

崎山酒造廠 伊芸工場/沖縄県国頭郡金武町字伊芸751番地
TEL.098(968)2417・FAX.098(968)2463

FOR YOUR HAPPY TIME

Orion
オリオンビール

オリオンビール株式会社

営業所 東京都中央区八丁堀4丁目13-5 幸ビル2F 〒104-0032

2018年度 琉球大学同窓会関東支部 総会&懇親会 式次第(予定)

【総 会】

場 所：日本教育会館 喜山倶楽部(飛鳥の間) <http://www.jec.or.jp/>

日 時：2018年10月20日(土)13:00～16:00

式次第 [司会 長谷川敏子] (開会の挨拶・議長選任 中島副支部長)

13:00 挨拶 高山支部長

13:05 ご挨拶 幸喜会長

13:10 ご挨拶 大城学長

13:15 議案

2017年度 活動報告&来期活動計画

金城事務局長

2017年度 決算報告&来期予算案

渡慶次会計

2017年度 監査報告

奥村会計監査

2018年度 役員改選

金城事務局長

13:25 本部同窓会からの活動費の贈呈

幸喜会長, 高山支部長

13:30 閉会の辞

中島副支部長

13:35～14:15 渡久山長輝前支部長 琉球大学名誉博士号 授与
記念スピーチ 演題「日本の教育世相」

14:20 記念撮影(全体)

【懇 親 会】

日本教育会館 喜山倶楽部(飛鳥の間)14:25～16:00 [司会 長谷川敏子]

14:30 乾杯(宮城 悟副支部長)

15:00 来賓及び新入会員並びにホームページの紹介

15:35 クイチャーパラダイス

15:50 カチャーシー

16:00 閉会の辞(二次会への案内)(高山支部長)
終了

【二 次 会】

16:30 喜山倶楽部(別室) ※会費は無料です。是非ご参加下さい。

㈱有限会社 エシマエンジニアリング

代表取締役 江洲 良一
(S 43年 電気学科卒)

東京都足立区千住中居町18-10 野中ビル
Tel: 03-3879-9723
メール: eshima-eng@nifty.com

有限会社ミホロ

店主 名嘉 盛光
(体育学科1970年入学)

〒160-0022 東京都新宿区新宿4-2-16



鳥取県立米子東高等学校卒業

1972 同志社大学工学研究科修了

1972 琉球大学理工学部工学
共通学科目講師

1973 全学弓道部顧問、退職まで

2007 琉球大学工学部定年退職

2007 徳島工業短期大学学長

2013 徳島工業短期大学顧問、現在に至る。

ウチナーグチと老人の言

遅い青春が終わると琉大勤務が始まった。鳥取県の片田舎に生まれ京都で青春時代をボーっと生きて来た私にとって、沖縄生活は自然も歴史も人々の暮らしも新鮮で魅力に富んだものであった。

人生の真ただ中を三十数年も過ごすと、それなりに世間との交流もできる。同僚からも様々な知恵や知識を与えられた。中学時代から雑学傾向のあった私にとってありがたい環境を与えられた。琉大が総合大学であるのも幸いした。

興味をもった一つは琉球語である。最初は方言と思っていた。ある地方の言葉を方言とするかどうかは、政治的な問題も介入し言語学のみでは決まらない事情もあるという。琉球語祖語はどの時代に日本語祖語と分離できるか。おそらく奈良時代より古だろう。

日本語はある意味、厳格さ、精密さを求めて漢語を吸収し、複雑になった。琉球語は大和言葉のように少ない単語で多くの内容を含ませる性質を残していると私は見ている。その分味わいが深く解釈に工夫が要る。

女性は男性の生活力を気にするが、男性は女性の美醜を気にする。そんなニーセーに世慣れた年寄り「カーギヨリ、チムグクルよ」と教える。また、故郷を離れる青年にオバアは「チムグクルアリ、ナンクルナイサ」と教えるという。「チムグクル(肝・心)」という一語に多くの意味を感じる。勇気・我慢強さ・聡明さ・情愛の深さ・覚悟・決断力・洞察力・自己統率力など極めて意味深い。自分自身が年をとり体

験を積むとその意味深さがわかってくる。チムグクルを忘れて、ナンクルナイサだけが独り歩きすると、ただの捨て鉢の生き方になる。

人生の先輩の知恵や言葉は貴重である。私も親兄弟や部活の先輩、研究室の先輩たちそして先生たちから多くの知恵を頂いた。これこそが人として生を受けた恩恵であるとしみじみと思う。

書店で立ち読みしていると、「老後の過ごし方」という本があり、「高齢者になったら、同窓会は欠席せよ」とあった。別の雑誌を見ると中野信子(脳科学者)は「老後は認知症を遅らすために、友人を持て」という。私は後者に同意する。同窓会は、同じ時代に人生の一部を共有して生きる人々の集団であって、付き合い方を工夫すれば得るものは多い。

ただ、老人の言うことは鵜呑みにできない。

千原に建つ琉大は4月頃温暖で湿潤な気団に囲まれることがある。冷えたビルは結露して廊下まで水を打ったように濡れる。私は窓を閉め切るのだが、その閉めた窓を「こんな時は風を通せと昔から老人は言いますよ」と開け放つ職員が居る。この職員は、この知識が飽和水蒸気圧と気温の関係を知らぬ老人の言うことであり、家屋がRCでない時代の知恵であることを忘れている。時代は変わるのである。

吉川英治は「我以外皆師なり」を座右の銘としたという。人として生を受け、様々な人に巡り合い教えを受けたことを感謝する。私は神を信じる信仰を持たないが、神の愛とはこういうことだろうか。

この文は高山支部長の命で寄稿した。管穴天覗の文である。何か考える切掛けになると幸甚である。



1987年 沖縄県立宜野座高等学校卒業
1988年 琉球大学法文学部経済学科入学
1992年 同 卒業
1993年 沖縄県庁採用
2018年 MICE推進課兼東京事務所副参事



東京生活あれこれ

はいさい ぐすーよー ちゅうがなびら。 関東支部の皆様はじめまして。沖縄県東京事務所の山田と申します。冒頭のうちなーぐち覚えてますか(わかりますか)? (※P5をご参照ください)

生まれてから今まで、半年間の東京研修を除いては、人生のほとんどを沖縄で過ごしてきた私にとって、初めてとも言える県外での生活がスタートして早5カ月が過ぎました。生活のリズムもでき日々楽しく過ごしておりますが、ふとした瞬間、少し前まで違う世界の話だった「満員電車に乗り都心のビルで仕事をする」なんてことを、当たり前のように(装って?)やっている(ように見える?)自分が何とも可笑しくなることがあります。

さて、少し仕事の話をしたいと思います。私が所属する沖縄県東京事務所MICE(マイス)リゾート班は有楽町の東京交通会館の3階にあり(東京事務所本体は千代田区平河町の都道府県会館の中にあります)、私を含め3名の職員で沖縄へのMICE誘致のための活動を行っています。ところで皆様、「MICE」ってご存じですか。MICEとは、M=Meeting、I=Incentive、C=Convention、E=Exhibition/Event、の頭文字を取った言葉で、日本語で言うと、企業系会議、報奨・研修旅行、学会系会議、展示会などとなります。沖縄県では2000年の九州・沖縄サミットを契機として、沖縄での国際会議等の開催に取り組んでいますが、平成29年度には新たにMICEを沖縄経済成長のプラットフォームと位置づけ、国際会議等MICEの誘致をより一層推進しているところです。MICEリゾート班はそ

の誘致の現場として、具体的には、学会等の事務局や理事の方々へのダイレクトメールや訪問等による、「MICE開催地としての沖縄」のPR、会場やホテル、コンテンツ、県の支援メニュー等々の紹介等を行う、いわゆる営業をやっています。公務員生活初めての「営業」に戸惑いつつも、これも勉強、これも沖縄のためと励んでおります。関東支部及びその関係者の皆様において、何かご用命がございましたらぜひご相談ください。

東京は食べ物も美味しく東京ならではの色々な楽しみに溢れています。一方で、至る所で沖縄のイベントが開催されており、沖縄料理のお店や沖縄の商品、沖縄に特化したコーナーもよく目にします。お会いする方々もとても好意的で、遠くから聞こえる三線や太鼓の音に「ちむどンドン」したり、逆に沖縄が近くに感じられ、その魅力に改めて気づかされています。そんな東京での唯一の誤算は、体重が右肩上がりに上昇していること…。「沖縄と違ってよく歩くから大丈夫」と高をくくっていたのが大間違いでした。

期間限定の東京生活ですが、引き続き公私ともに東京を楽しみつつ、沖縄の魅力の再発見、そして発信ができればと思っています。

沖縄料理研究家
修学旅行アドバイザー

高山 厚子

(初等教育学科 S41 年卒)
沖縄料理研究家

メール: takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
ブログ: 「空飛ぶあっちゃん」発信中



三重県 伊勢高等学校卒業
 1979年 農学部農学科入学
 1986年 同 卒業
 1986年 沖縄総合事務局入省
 1989年 農林水産省関東農政局に異動、その後も数回異動
 2003年 沖縄総合事務局(～2005年)
 2006年 農林水産省東海農政局へ異動
 現 在 農林水産省東海農政局担い手育成課に勤務

趣味は離島巡りから絵葉書収集へ ～同窓会東海支部の旗揚げを～

稲葉賢治といいます。1979年に農学部に入學しましたが、退學や再入學があり、結局、1986年3月に農学部農学科を卒業しています。ちょうどキャンパスの移転の時期で、結果的に首里のキャンパスも西原のキャンパスも思い出深いものになっています。1986年4月から沖縄総合事務局に採用されて、その後、あちこちに異動がありましたが、結果的には農林水産省に勤務した年月の方が一番長くなってしまいました。定年まであと2年となっています。

時の経過するのは、本当に早いものです。平成7年10月に名古屋へ異動するまでは、東京に6年ちょっと勤務していたので、関東支部にも参加させてもらっていました。最後は関東支部同窓会事務局長として、支部会報の作成や支部同窓会の開催準備を行ったことがいい思い出になっています。

今回は、趣味のことを少し書いてみます。若い頃は離島へ旅行することを無上の喜びとしていました。特に沖縄県内の離島へはあちこちに旅行しました。沖縄総合事務局に勤務していた頃は離島への出張もたくさんありました。その頃私が旅行した有人島でも今では無人島になってしまったところもあります。沖縄の離島はどれも個性があって思い出深いところが多いです。中でも鳩間島、多良間村の水納島、伊平屋島には特に強い印象があります。慶留間島と渡名喜島の2島だけが、沖縄県内の有人島でまだ行くことができていない島です。

中年以降は、家庭の事情もあって離島へ旅行するのが難しくなってしまったので、使用済みの琉球切手と、主に戦前の絵葉書を収集することを趣味にし

ています。琉球切手は復帰以前の沖縄で使われていた切手ですが、多くが未使用で保存されたため、かえって使われた切手の方が私のようなマニアの間では珍重されるようになっていきます。葉書や封書のままのものや、切手単片でも消印がよく読むことができるものは、いい値段で取引されています。

ここ10年ぐらひは、古い時代の絵葉書を集めることの方が楽しくなっています。きっかけは、琉球新報社が発行した『絵はがきにみる沖縄 明治・大正・昭和』という本を読んだことでした。ほとんど戦前の沖縄の絵葉書を紹介しながら沖縄の風景や風俗を示していますが、数枚だけ戦後の絵はがきが載っています。そのうちの1枚は、竜潭池越しに見る琉球大学首里キャンパスのものです。今では沖縄に限らず主に戦前の絵葉書を収集していますが、やっぱり沖縄の絵葉書には強くひかれます。沖縄のものは人気が高く、残っている数が少ないというイメージもあり、価格が高いのが悩みの種です。

東海地域には琉大同窓会の支部がないので寂しい思いをしています。数人でも立ち上げたいという方がいらっしゃれば、準備会を開きたいと思いますので、ぜひご連絡下さい。

中島信一郎法律事務所

弁護士 中島 信一郎
 (1975年法政学科入学)

住所：〒104-0061 中央区銀座4丁目9-6
 陽光銀座三原橋ビル6階
 電話：03-6226-2200



茨城^{ほこた}県立銚田第一高等学校卒業
1977年 理工学部生物学科入学(学生No 775423)
1981年 同 卒業
1981年 茨城県立那珂湊第一高等学校着任
現 在 茨城県立鹿島高等学校教諭

琉大時代は珠玉の季節 ～沖縄修学旅行に努力

私が「沖縄」にお世話になったのは1977年からです。復帰が72年、海洋博が75年。その2年後の琉大入学でした。当時の沖縄は、茨城県からは遙か彼方の別の国、新婚旅行でしか行けないような場所でした。そんな沖縄への進学を決めたのは、学年主任の一言からだったと記憶しています。当時17歳の私には、沖縄はただハイビスカスが咲いている場所というくらいの知識しかありません。そんな私がごく気軽に、何も考えずに進学を決定したのは、本当に「偶然」でしかなかったように思います。その当時は知りませんでしたが、両親と担任の先生とのバトルがあったと後で聞きました。

行ってみて感じたことは、本当に「別天地」ということでした。暑さは勿論、コンクリートの建物群、エメラルドの海、国際通りのアメリカ人、車の右通行、牧志辺りの夜9時に沢山いる普通的女子高校生、見るもの体験するもの全てがこれまでとは別物でした。首里キャンパスの説明会では色々と寄ってくる革マル、民青、自治会など、何が何だか分らない状態でした。それでも男子寮「海邦寮」に入り、多くの先輩方から、それらがどういうものであるか教えていただき、何となく分ってきました。最初に寮に入れたことは、様々な正しい情報を得る上で本当に良かったと思います。それまでは、全く他人任せで何も分らず、何も主張しない平凡な高校生であった私が大きく変わったのは、これらの体験の賜物に他なりません。寮では本当に沢山の友人に巡り会え、助けてもらいました。

また、周囲の一般の方々からも「琉大生」というだけ

で、いろいろと面倒も見て頂けて、琉球大学が地元の人に本当に大切にされているのだということも感じました。沖縄での4年間の生活は、私の一生の中でも「珠玉の季節」であったことは、間違いのないと思っています。

その後は、地元茨城の理科の教員となりました。今から20年程前、県立高校の修学旅行での航空機利用が解禁され、担当になって初めて候補地を選んだのが「沖縄」でした。卒業後も何度も沖縄へ行っていました。修学旅行となると目的にかなった場所を選ばなければなりません。教育という面からでは、ただ観光地を巡るだけでは成り立ちません。自然・文化体験、平和教育の場を自分で足を運び、確かめ、実現へこぎつけました。以来20年程同じ方向性で実施されています。平和教育の「沖縄戦」については、生徒はもとより教員の認知度も大変希薄です。私も琉大に行っていなければ、何も知らない一人だったと思います。沖縄にゆかりのある私としては、いくらかでも「沖縄を知らせなければ」という気持ちで『沖縄通信』を作りました。また、沖縄の楽しい所、自然の素晴らしい所も沢山伝えてきました。来春には定年を迎えますが、これからも私の「沖縄」を茨城の人々へ伝えていきたいと思っています。

☆沖縄通信☆

vol. 3

6月19日(火)高山厚子さん(75歳)の話を聴きます!

高山さんは沖縄の名産市(沖縄本島北部で一番大きな市)出身で、現在は東京にお住まいの75歳の「おばあ」です。皆さんは75歳というときぞよぼよのおばあさんを想像するかも知れませんが、私の知っている沖縄おばあ一般論からすると、75歳は老人会の最若手で「まだまだ若すぎる!」ぐらい言われるお年頃だと思います。

経歴を見ると琉球大学を卒業後、東京で小学校の先生になり、校長先生にまでなられたようです。その後も都の教育委員会で活動するとか、大手企業のアドバイザーをするとか、NHKの「あさイチ」に出演されたとか、本は出版したとか、華々しい活躍をされている「スーパーおばあ」のようです。

そんな「おばあ」が皆さんのために沖縄戦のことを中心に「オキナワ」のことを話してくれます。年齢から見ると実際に沖縄戦を体験されているのではないようですが、両親は深く体験されており、高山さんも大変な「戦後」を体験されています。来る6月23日を前に高山さんのお話が聞けることは、「沖縄」のこれまでも知る上で最高の機会となると思います。





1967年 私立 興南高校卒業
 1971年 琉球大学理工学部化学科卒業
 1971年 チッソ株式会社入社(公害防止研究所勤務)
 1976年 東海大学大学院 海洋化学修士課程修了
 1976年 日東粉化工業株式会社入社(化学研究室勤務)
 1984年 Baxter Japan 工場長
 2003年 Medtronic Japan 品質保証/コンプライアンス部長
 2006年 Nobel Biocare Japan 工場長/Operation 本部長
 2015年～ Tecan Japan 品質薬事部長、Schott Japan 顧問

沖縄から日本、Global医療企業へ

3年生在学中に卒論研究の為、日本政府の船で尖閣列島周辺の海底油田調査に教授と共に参加、採取した海底堆積物サンプル分析を基に日本地球化学学会で研究発表した。卒業後は、もっと広い世界で仕事がしたく、教授の推薦で日本企業へ就職。その後大学時代から暖めていた海洋開発の仕事に従事したく、退職後、バイトをしながら大学院へ進む。しかしオイルショックの影響で卒業時には海洋開発関連の就職は殆ど無く、当時結婚しており、長男も生まれたばかりで大きな挫折感を味わった。

約2年間日本企業に勤務後、運良くアメリカの医薬品・医療機器会社Baxter に就職。そのグローバル企業の大きさ、製品開発力、成長スピード等には圧倒された。29歳の若者にいきなり人工腎臓の国産化プロジェクトを任せられ、必死で仕事に食らい付き、英語も on the job training で学んだ。プロジェクトの見通しがついた、7ヶ月後には岐阜工場建設プロジェクトの一員に選ばれ、完成後はそのまま勤務、入社後7年目の36歳には工場長に抜擢、社員230名に成長後、手狭になり宮崎に新工場も建設した。

日本初の腎不全患者の在宅医療や腹膜透析液生産に携わり、1987年4月には、琉球放送が「RBC 土曜特集」の一時間番組で工場・会社紹介をしてくれた。東京本社転勤後はロジスティックス部担当、阪神大震災の時は無事故で在宅医療を継続、NHK「クローズアップ現代」の取材・放映もあり、その後海外のDisaster(災害)国際会議での発表も行った。

アメリカシリコンバレーに短期間ではあったがアパートを借りて滞在し、休日はロス、サンフランシスコ、ヨセミテ公園等にも何度か足を伸ばした。

その後ヘッドハンティングで心臓ペースメーカーを扱うアメリカ Medtronic 社で品質保証、コンプライアンスを担当、次に歯のインプラントを扱うスイスの Nobel Biocare 社へ転職、再度工場を建設し、工場長、オペレーション本部長として勤務。

5年前からは現在のスイスの医療機器会社で品質薬事部門を担当、臨時・形式的ではあったが約1年間社長も勤めた。同時にドイツ医療機器会社 Schott の顧問も担っている。

かれこれ40年以上の Global 企業勤務だが、海外出張も多く、色々な国々にも行かせて貰った。大半はチャレンジングで、新分野で充実した仕事生活を送っている、しかし全て順風満帆という事では無く、苦い経験もあるが仕事には恵まれていて、健康で感謝の日々である。

去年の同窓会ではなんと、高校・大学の同期、東俊明君(旧姓 陳俊明 台湾出身、その後帰化)と当初はお互い気づかず、47年振りの感激のハプニング再会劇でした。彼は工学部電気学科卒業後アメリカミシガン大学にも留学していたようです。

皆さんも同窓会に参加しましょう、昔の友人に会えますよ！



Baxter工場長時代-US本社会長ご夫妻、日本本社社長をお迎えして

Science Human Big Data

国際心相科学協会

会長 宮城 悟

〒111-0031 東京都台東区千束 1-6-1-905
tel 03-5808-3663 fax 03-5808-3669
cell-phone:090-2659-0113
miyagisatoru999@gmail.com
miyagi999satoru@docomo.ne.jp

DENSO
デンソーサービス

代表取締役

安藤 和浩

kazuhiro ando

NEXTA 株式会社 ネクスタ

〒793-0044 愛媛県西条市古川甲61-1
TEL (0897)53-2414 FAX 53-2483
E-mail: info@nexta-auto.jp
URL: www.nexta-auto.jp/



代表取締役社長

菅野 貴之

業務用卸

株式会社 日本園芸ガーデン

本店 宇都宮市西大宮1丁目2番7号
TEL (028) 634-9779
FAX (028) 636-0873
携帯 090-2552-8825
e-mail: taka-370@nippon-garden.co.jp



会長

奥平 陸 Okudaira Riku

Mobile. 090-1356-0876

株式会社 ワールドコーポレーション

【本社】〒751-0877 山口県下関市秋桜東町8-10
ワールドコーポレーションビル4-1 TEL. 03-6273-1880
TEL. 083-256-6670 FAX. 03-6406-0074
FAX. 083-256-6671
Mail. riku_okudaira@outlook.jp



株式会社 カデナサービス

代表取締役社長

嘉悦 智仁

〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1丁目7の25
レイクサイドヴィラ4階
電話 098-975-5288 FAX 098-993-5722
携帯 080-5212-6261 E-mail ks@kadena-service.com

株式会社

ぬちま-す
www.nutima-su.jp

代表取締役

高安 正勝

〒904-2423 沖縄県うるま市与那城2768
TEL: 098-983-1111 FAX: 098-983-1112
E-mail info@nutima-su.jp



電子新聞

「沖縄タイムス プラス」

今日の朝刊が朝5時に読める!!

詳しくは

<http://www.okinawatimes.co.jp>

東京支社長 中山 優

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-18-1 銀座木挽町ビル6階
☎03-6264-7878 FAX: 03-6226-1200



琉球新報社

東京支社

支社長 近藤 好冲

KONDO YOSHIOKI

東京支社 東京都中央区銀座 4-9-6
陽光銀座三原橋ビル3階
〒104-0061 電話 03-6264-0981
FAX 03-6264-0982
携帯 090-3195-8663
E-mail: kondo@ryukyushimpo.co.jp
本社 〒900-8525 沖縄県那覇市泉崎1-10-3
電話 098-865-5111 (代)

この島は
元気です



久米島の久米仙 www.k-kumesen.com
本社・工場/沖縄県島尻郡久米島町字江城2157 TEL.098-985-2276(代)

琉球ステムセル株式会社

Ryukyu Stem Cell CO.,Ltd

再生医療コーディネーター

宮城 重哲

MIYAGI Shigenori

〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地
琉球大学医学部 ロート再生医療研究センター1F
E-mail: shigenori_miyagi@yahoo.co.jp
携帯: 070-6454-3281
連絡先: ロート製薬株式会社 東京支社
〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20-20F
TEL: 03-6832-6014 Fax: 03-6832-6024

2017年度決算報告 & 2018年度予算案

単位:円

決算報告書(2017.9.1 ~ 2018.8.31)

来期(2018年度)

収支報告書				
収 入	予 算	実 績	比較増減	摘 要
前期繰越	463,941	463,941	0	
総会費	300,000	264,000	- 36,000	出席者44名
寄付金	100,000	156,000	56,000	
組織強化金(本部より)	100,000	118,000	18,000	
広告料収入	100,000	160,000	60,000	
受取利息	0	3	3	
合計	1,063,941	1,161,944	98,003	
支 出	予 算	実 績	比較増減	摘 要
事務用品費	30,000	0	- 30,000	
通信費	100,000	121,747	21,747	
封筒作成費	0	15,228	15,228	
会報誌作成費	150,000	94,770	- 55,230	
総会費(二次会込)	270,000	368,184	98,184	泡盛寄付他
会議費	20,000	20,000	0	
雑費(お花代他)	30,000	55,176	25,176	
次期繰越	463,941	486,839	22,898	
合計	1,063,941	1,161,944	98,003	

来期予算	
収 入	摘 要
486,839	
300,000	6,000円×50名
100,000	
100,000	
100,000	
0	
1,086,839	
支 出	摘 要
30,000	
100,000	
0	
150,000	
270,000	
20,000	
30,000	
486,839	
1,086,839	

貸借対照表(2018.8.31現在)			
資産の部		負債・繰越金の部	
普通預金	486,839	未払金	0
未収金	0	次期繰越金	486,839
合計	486,839	合計	486,839

2017年度活動報告

第1回幹事会 2018年6月20日(水)18:30 ~

第2回幹事会 2018年7月25日(火) 18:30 ~

平成29年度本部同窓会 2018年7月28日(土)

高山支部長、宮城悟さん 出席

第3回幹事会 2018年 8月28日(火)18:00 ~

総会・懇親会 2017年 10月21日(土)13:00 ~ 16:00

2018年度 役員名簿

支部長	高山 厚子	初等教育学科	1966年卒
副支部長	中里 朝幸	数学科	1960年卒
副支部長	崎浜 浩一	機械工学科	1965年卒
副支部長	島袋 朝順	電気工学科	1968年卒
副支部長	江洲 良一	電気工学科	1968年卒
副支部長	仲本 光正	経済学科	1981年卒
副支部長	名嘉 盛光	体育学科	1974年卒
副支部長	中島 信一郎	法政学科	1975年入
副支部長	宮城 悟	法政学科	1976年入
事務局長	金城 利光	法政学科	1975年入
事務局次長	比嘉 勝也	法政学科	1976年入
事務局次長	池田 正人	経済学科	1986年入
事務局次長	三村 邦彦	電気情報工学科	1992年卒
事務局次長	糸数 昌史	電気情報工学科	1991年卒
事務局次長	永田 幸江	法政学科	1995年卒
芸能部次長	比嘉 千都代	心理学科	1968年卒
総務部長	高橋 清志	物質地球科学科	1998年入
会 計	渡慶次 奈月	経営システム学科	
会計監査	奥村 弘美	養護科	1976年入
顧問	渡久山 長輝	物理学科	1960年卒
顧問	桑江 良奉	英文学科	1950年卒
顧問	中島 政彦	教育学科	1954年卒
顧問	喜友名 朝昭	商学科	1961年卒
顧問	砂川 義信	法政学科	1964年卒
顧問	重田 辰弥	法政学科	1959年入



沖縄三線音楽
クイチャーパラダイス

代表 **仲本 光正**
nakamoto mitumasa

〒171-0031
東京都豊島区目白2-16-22 ロンアイル池袋303
宮古島大使館内
TEL 03-5396-7878 FAX 03-5396-7879
MAIL info@quipara.jp URL http://quipara.jp/



世界無形文化の祭典

第1回宮古島国際文化交流 フェスティバル2019

主 催 クイチャーパラダイス

期 間：2019年6月1日～10日

主会場：JTA 宮古島ドーム

国内外200以上の団体、10,000人以上の奏者・演者、300以上の演目

公式ウェブサイト <http://mic-fes.org>



事務局からのお願い

総会・懇親会へのご出席

琉大の出身者で縁のある方は、全て同窓会関東支部の会員です。毎年、10月の第3土曜日の総会・懇親会にはお気軽にご出席下さい。かつての学科やサークルの仲間と会う機会としてご利用下さい。

ご寄付のお願い

関東支部は、後輩たちの社会進出にも貢献したいと考えています。その為の資金として、皆様にご寄付をお願いしています。ご協力のを頂ければまことに幸いです。

振込先(郵便局口座) 郵貯銀行から振り込む場合：(記号) 10500 (番号) 52592781

他金融機関から振り込む場合：(店番) 058 (預金種目) 普通預金 (口座番号) 5259278

琉球大学同窓会 関東支部

支部長：高山厚子(初等教育学科 1962年入学)

事務局住所：〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目9-6

陽光銀座三原橋ビル6階

(中島信一郎法律事務所内)

Tel: 03-6226-2200

メールアドレス：endo@nakajima-law.net

webサイト



ブログ



Twitter



Facebook



芭蕉誌

第18号 琉球大学同窓会関東支部会報誌

【禁・無断転載】

発行日：2018年9月20日

発行人：中島信一郎(法政学科 1975入学)

編集人：金城利光(法政学科 1975入学)

沖縄戦後70年平和復興記念事業

沖縄未来創造プロジェクト

沖縄の未来の人材を創る

沖縄の未来の事業を創る

—今やらねば、私たちは未来に禍根を残す—

OFCI

Okinawa Future Creation Institute

一般社団法人 沖縄未来創造研究所

沖縄未来創造プロジェクト実行委員会

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎 2-3-8-303 TEL:098-854-0437 FAX:098-854-0438

http://okinawa-mirai.org e-mail: info@okinawa-mirai.org